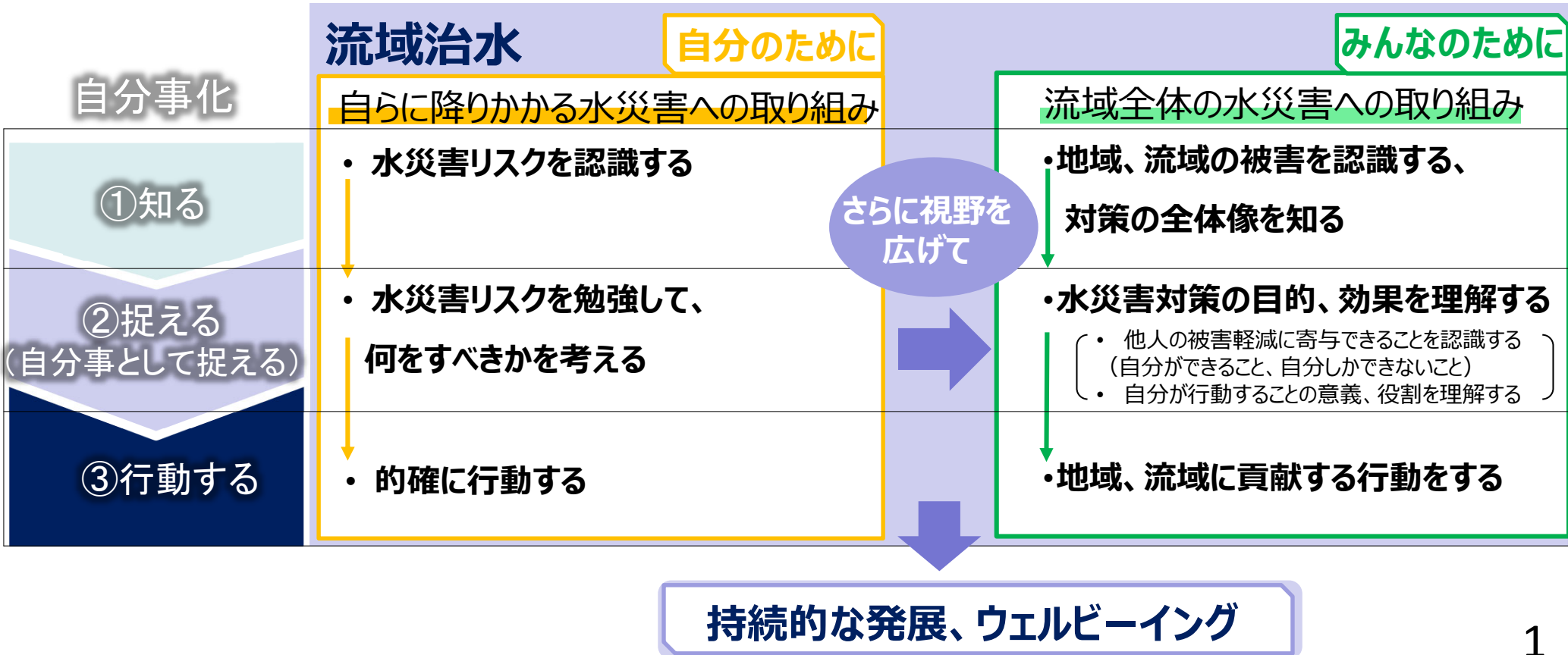




水災害を自分事化し、総力を挙げて流域治水に取り組む

- 住民や企業などが自らの水災害リスクを認識し、自分事として捉え、主体的に行動することに加え、さらに視野を広げて、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させることで、流域治水の取り組みを推進する。



大淀川水系流域治水協議会

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

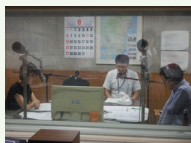
連携活動

- マスコミとの防災気象情報について勉強会を実施
- 各機関との防災訓練
- 流域イベントで、流域治水をPR
- 防災イベントによる啓発活動



流域治水の広報

- マスコミを通じたハザードマップや防災訓練、マイタイムライン等に関する啓発活動を実施(国)
- 市長報等で流域治水の広報



教育活動

- 防災士ネットワーク、河川協力団体等と協同で防災教育に関する出前講座を実施(国)



- 河川協力団体と協同で流域治水に関するシンポジウムを開催(国)

- 防災教育・流域治水の啓発活動に関する出前講座を実施(国)



- 各自治体を対象に流域治水勉強会を開催(国、宮崎市)



リスク情報等の提供

- 水防情報図の市町村への配布(2市2町：国)
- 洪水ハザードマップ改訂
- 雨水出水浸水想定区域、計画降雨浸水防止区域図の作成(宮崎市、都城市)



- ワンコイン浸水センサの実証実験(宮崎市、都城市、国富町、綾町)



- 防災無線、防災ラジオ等による情報伝達

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施



水防活動の支援

- 防災士、地域防災リーダー等の育成(鹿児島県、宮崎市、高原町、国富町)
- 自主防災組織への救命胴衣の配布(宮崎市)

水災害対策の支援

- 避難施設等の非常用電源設備の設置(曾於市)
- 避難場所・避難路を避難確保計画に位置付け(都城市)
- 避難所運営マニュアルの整備(綾町)



計画策定

- 立地適正化計画の作成・見直し
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

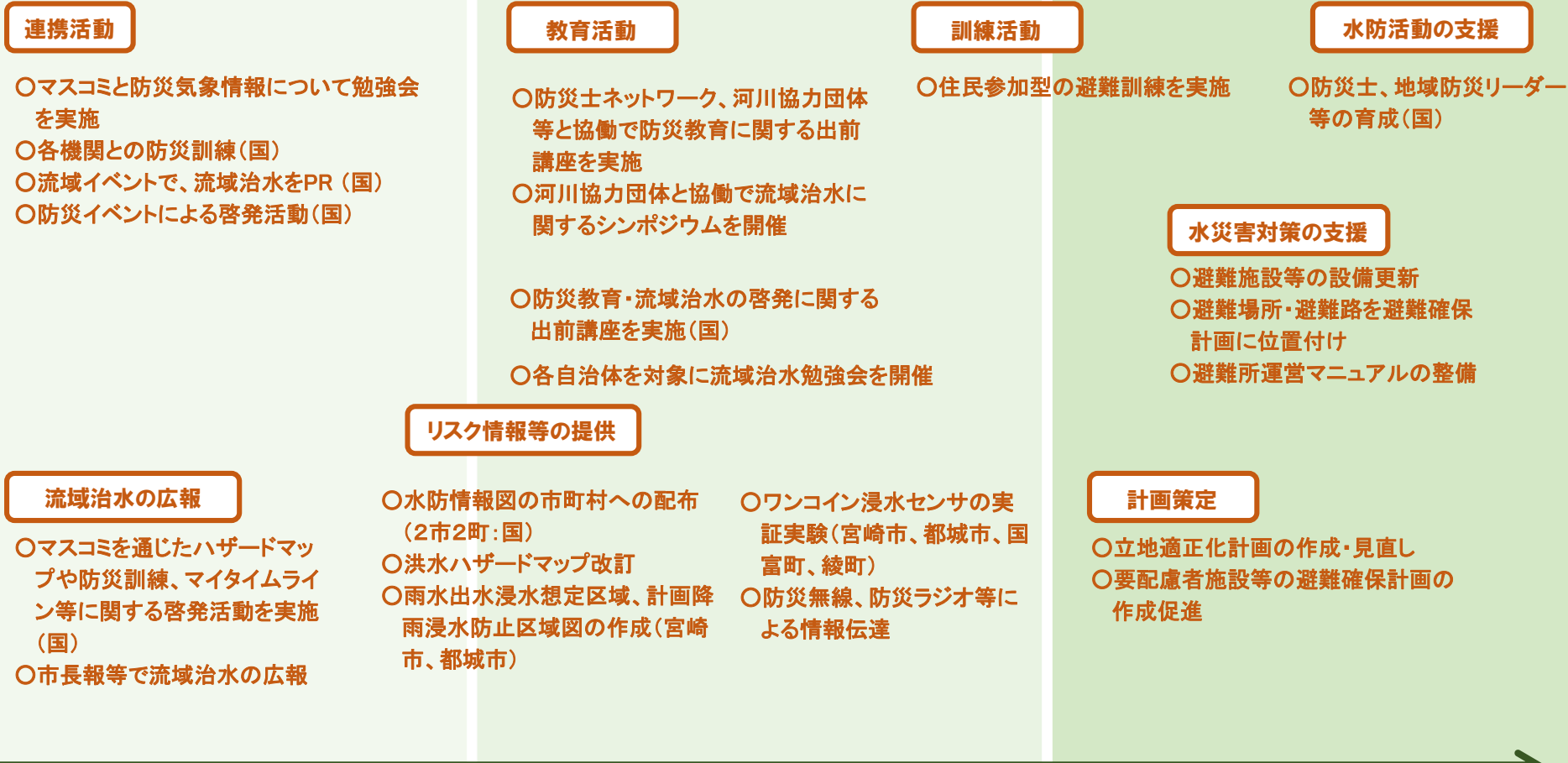
水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

大淀川水系流域治水協議会

計画: 「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

周知、連携活動
中心

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

情報提供、教育
活動中心

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

計画策定や具体
行動の支援中心

#4 大淀川水系流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	ラジオや新聞で防災情報を啓発			
		市町報で流域治水の広報			
	◎連携活動 地域 個人	マスコミと防災気象情報についての勉強会			
		各機関との防災訓練			
		流域イベントで流域治水をPR			
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	水防情報図の配布、洪水ハザードマップの改訂、雨水出水浸水想定区域図の作成			
		防災無線、防災ラジオによる情報伝達			
		ワンコイン浸水センサの実証実験			
	◎教育活動 地域 個人	防災士ネットワーク、河川協力団体と協働で防災教育、出前講座			
		防災教育・流域治水の啓発に関する出前講座			
		各自治体対象の流域治水勉強会		● 河川協力団体と共同でシンポジウム開催	
③ 行動を誘発する	◎訓練活動 地域 個人	住民参加型の避難訓練			
	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進、立地適正化計画の作成・見直し			
	◎水災害対策の支援 個人	避難施設等の設備更新			
		避難場所・避難路を避難確保計画に位置付け、避難所運営マニュアルの整備			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	防災士、地域防災リーダーの育成			

小丸川水系流域治水協議会

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- マスコミとの防災気象情報について勉強会を実施(国、気象台等)
- 各機関との防災訓練(国、県、市)
- 流域イベントで、流域治水をPR
- 防災イベントによる啓発活動(国、県、市町)



流域治水の広報

- マスコミを通じたハザードマップや防災訓練、マイタイムライン等に関する啓発活動を実施(国)



教育活動

- 防災教育・流域治水の啓発活動に関する出前講座を実施(国)



- 各自治体を対象に流域治水勉強会を開催(国、高鍋町)



リスク情報等の提供

- 水防情報図の市町村への配布(国)
- 洪水ハザードマップ改訂
・防災ハザードマップ随時配布(川南町)



訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(高鍋町、川南町)

水防活動の支援

- 自主防災組織の育成(高鍋町、木城町、川南町)

水災害対策の支援

- 避難施設等の非常用電源設備の設置

計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進
- 災害危険区域の指定(高鍋町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

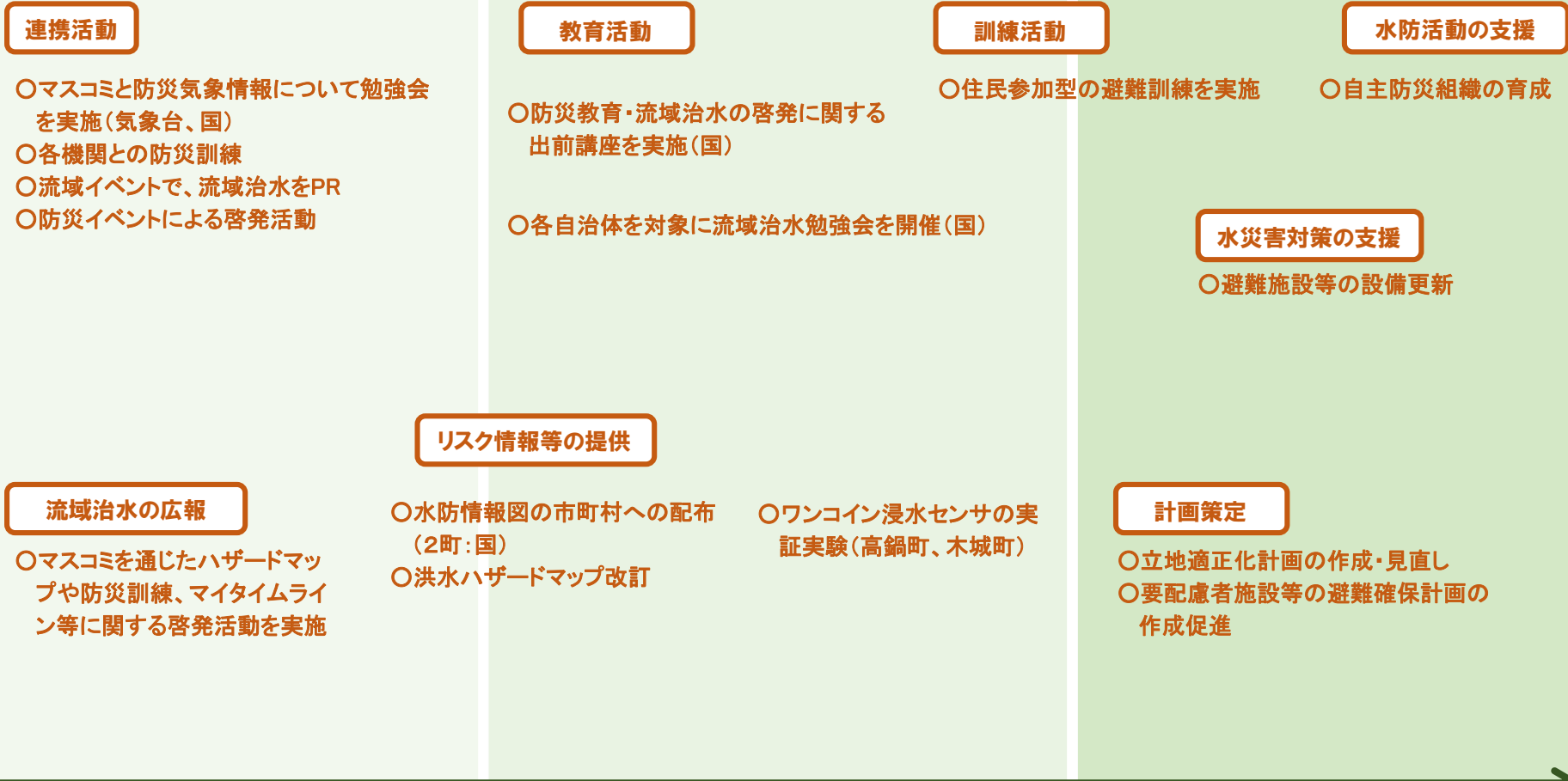
水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

小丸川水系流域治水協議会

計画: 「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

周知、連携活動
中心

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

情報提供、教育
活動中心

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

計画策定や具体
行動の支援中心

#7 小丸川水系流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎連携活動 地域 個人 </p>	<p>ラジオや新聞で防災情報を啓発</p>	<p>マスコミと防災気象情報についての勉強会</p> <p>各機関との防災訓練</p> <p>流域イベントで流域治水をPR</p>		
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>水防情報図の配布、洪水ハザードマップの改訂・配布</p> <p>ワンコイン浸水センサの実証実験</p>	<p>防災教育・流域治水の啓発に関する出前講座</p> <p>各自治体対象の流域治水勉強会</p>		
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進</p> <p>立地適正化計画の作成・見直し</p>	<p>避難施設等の設備更新</p> <p>自主防災組織の育成</p>		

令和 8 年度 自分事化に向けた取組計画

宮崎県

〈宮崎県〉大淀川・小丸川水系流域治水協議会

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

水災害・流域治水の広報

- 宮崎県防災の日における普及・啓発(イベント・テレビCM等)(危機管理課)
- 防災週間における普及啓発(テレビCM・SNS広告等)(危機管理課)
- 懸垂幕やポスター等で土砂災害に関する啓発活動を実施(砂防課)

教育活動

- 防災士養成研修の実施(R7. 4月末 県内の防災士 7,960人)(危機管理課)
- 学校、企業、自治会等への防災士出前講座の実施(R7 200回実施)(危機管理課)
- 小中高校や地区住民への防災教育や流域治水などに関する出前講座の開催(河川課 10地区)(砂防課 10地区)



リスク情報等の提供

- 防災情報共有システムによる防災情報の共有(危機管理課)
- 土砂災害警戒区域等の公表(砂防課)
- 洪水浸水想定区域図の作成(宮崎、都城、小林、高岡、高鍋、日向土木事務所)



訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(都城市、小林市、えびの市、高原町、三股町)



計画策定

- マイハザードマップ作成支援(砂防課)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

〈宮崎県〉大淀川・小丸川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに係る令和8年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

水災害・流域治水の広報

- 宮崎県防災の日における普及・啓発(イベント・テレビCM等)(危機管理課)
- 防災週間における普及啓発(テレビCM・SNS広告等)(危機管理課)
- 懸垂幕やポスター等で土砂災害に関する啓発活動を実施(砂防課)

教育活動

- 防災士養成研修の実施(危機管理課)
- 学校、企業、自治会等への防災士出前講座の実施(危機管理課)
- 小中高校や地区住民への土砂災害防止教育や流域治水などに関する出前講座の開催(河川課・砂防課)

リスク情報等の提供

- 防災情報共有システムによる防災情報の共有(危機管理課)
- 土砂災害警戒区域等の公表(砂防課)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(都城市、小林市、えびの市、高原町、三股町)

計画策定

- マイハザードマップ作成支援(砂防課)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

#11 <宮崎県>大淀川・小丸川水系流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎連携活動 企業・団体				
	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	SNSや広報誌等による水害・土砂災害に関する啓発活動			
		イベント、テレビ・SNS広告による防災啓発活動			
② 自分事と捉えることを促す	◎教育活動 地域 個人	防災講話、出前講座			
		防災士の養成、防災士出前講座			
	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	土砂災害警戒区域等の公表			
		防災情報共有システムによる防災情報の共有			
	◎訓練活動 地域 個人	住民参加型の避難訓練			
③ 行動を誘発する	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	避難施設等の設備更新			
		自主防災組織の育成			
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	マイハザードマップの作成支援			

令和 8 年度 自分事化に向けた取組計画

鹿児島県

〈鹿児島県〉大淀川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

#14 <鹿児島県>大淀川・小丸川水系流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		流域治水に関する教材作成	川のワークショップを活用し流域治水を周知	
	◎連携活動 地域 個人				
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	 鹿児島県管理区間における洪水浸水想定区域図の公表 山地災害危険地区の情報提供			
	◎教育活動 地域 個人	 県・市町村職員、建設業者等の山地防災ヘルパーを対象とした山地防災ヘルパー研修			
	◎訓練活動 地域 個人				
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体				
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

令和 8 年度 自分事化に向けた取組計画

宮崎地方気象台

大淀川・小丸川水系流域治水協議会(宮崎地方気象台)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 大雨や台風接近時には、メールやホットラインにより注意・警戒を呼びかけるほか、台風説明会(報道向け・自治体関係者向け)を実施

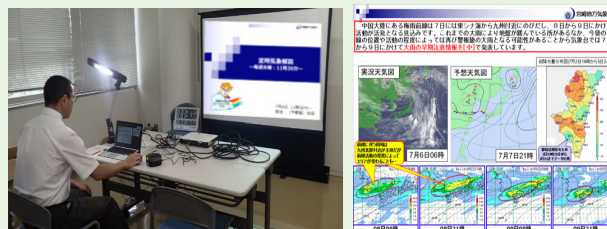
台風第10号に関する河川国道事務所と気象台の合同説明会 2024/8/27



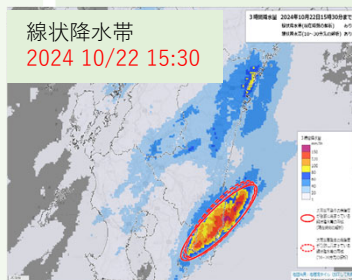
- 報道機関との勉強会実施、報道機関を通じた水害の啓発や気象台が発表している情報等の説明

教育活動

- 小中高校や消防学校への防災教育や出前講座の開催
- 防災気象情報の利用普及を図る取組として、自治体担当者を対象にオンラインツールを活用した気象解説や勉強会を実施



リスク情報等の提供



- 「顕著な大雨に関する気象情報」大雨による災害発生の危険度が急激に高まる中で、線状降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を解説
- 半日程度前の呼びかけ(予測)線状降水帯が発生するおそれが高まった場合、半日前～6時間前を目安に気象情報の中で呼びかける

訓練活動

- 自治体を実施する防災訓練への参画
- 関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練への協力
- 出水期前に関係機関との合同巡視への参加や指定河川洪水予報発表を含めた洪水対演習の実施

水防活動の支援

- 大規模災害が発災した後に早期復旧支援を行うために、自治体にJETT (JMA 防災対応Emergency Task Team 気象庁支援チーム)を派遣し気象解説

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

大淀川・小丸川水系流域治水協議会(宮崎地方気象台)

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 報道機関との勉強会実施、報道機関を通じて水害の啓発や気象台が発表している情報等の説明
- 大雨や台風接近時には、メールやホットラインにより注意・警戒を呼びかけるほか、台風説明会(報道向け・自治体関係者向け)を実施

教育活動

- 小中高校や消防学校への防災教育や出前講座の開催
- 防災気象情報の利用普及を図る取組として、自治体担当者を対象にオンラインツールを活用した気象解説や勉強会を実施

リスク情報等の提供

- 防災気象情報の提供と段階的な改善

訓練活動

- 自治体を実施する防災訓練への参画
- 関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練への協力
- 出水期前に関係機関との合同巡視への参加、指定河川洪水予報発表を含めた洪水予報対向演習の実施

水防活動の支援

- 大規模災害が発災した後に早期復旧支援を行うために、自治体にJETT(JMA 防災対応Emergency Task Team 気象庁支援チーム)を派遣し気象解説

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

#18 大淀川・小丸川水系流域治水協議会(宮崎地方気象台)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎連携活動 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>報道機関との勉強会実施、報道機関を通じて水害の啓発や気象台が発表している情報等の説明 大雨や台風接近時には、メールやホットラインにより注意・警戒を呼びかけるほか、台風説明会(報道向け・自治体関係者向け)を実施</p>			
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>	<p>小中高校や消防学校への防災教育や出前講座の開催</p> <p>防災気象情報の利用普及を図る取組として、自治体担当者を対象にオンラインツールを活用した気象解説や勉強会を実施</p> <p>防災気象情報の提供と段階的な改善</p> <p>自治体を実施する防災訓練への参画、関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練への協力 ● 出水期前に関係機関との合同巡視への参加、指定河川洪水予報対向演習</p>			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p>	<p>大規模災害が発災した後に早期復旧支援を行うために、自治体にJETT(JMA Emergency Task Team 気象庁防災対応支援チーム)を派遣し気象解説</p>			